

## 協働事業 ふり返しシート

作成：豊川市人権交通防犯課男女共同参画担当 豊川共生ネットみらい事務局 作成日時：2015/2/24

### 【協働チェックリスト】

高 ←————→ 低

	No.	ふり返りの視点	達成度（5段階評価）
計画	①	事業の目的は明確でしたか。	⑤ 4 3 2 1
	②	適切な目標設定ができましたか。	5 4 ③ 2 1
	③	事業の目的・目標は共有できましたか。	⑤ 4 3 2 1
実行	④	協働形態の選択はよかったですか。	⑤ 4 3 2 1
	⑤	役割分担は適切でしたか。	⑤ 4 3 2 1
	⑥	コミュニケーションは十分でしたか。	⑤ 4 3 2 1
結果	⑦	当初の目標を達成できましたか。	5 4 3 2 1
	⑧	それぞれの特徴が十分に発揮されましたか。	⑤ 4 3 2 1
	⑨	協働によりサービスは充実しましたか。	⑤ 4 3 2 1
	⑩	情報発信に努め、事業の透明性は確保できましたか。	⑤ 4 3 2 1
	⑪	事業の継続性がありますか。	⑤ 4 3 2 1
効果	⑫	(サービスの)受益者の満足度はどうでしたか。	⑤ 4 3 2 1
	⑬	地域や社会に新たな”気づき”を与えられましたか。	⑤ 4 3 2 1
	⑭	第三者による評価を得ましたか。	5 4 3 2 1
	⑮	また協働に取り組んでみたいと思いますか。	⑤ 4 3 2 1

### 【課題】 協働事業を実施した課題を記入しましょう。

1. 具体的な目標設定をしなかった。(チェックリスト③ )

初回から今回(第6回)まで、目的は「男女共同参画社会に必要な男女互いに尊重しあう姿勢をめざすこと」と一貫している。男性参加の鈍さに問題意識を常に持っていたが、具体的な数値目標を掲げて改善しようとする方策はとらなかった。また、講座そのものに対しての目標設定(例えば、受講者の満足度・気づきを図る指標など)を具体的に考えなかった。

2. 目標を達成できたかどうかわからない。(チェックリスト⑦)

目標設定をしなかったため、達成度はわからない。従って、チェックリストは空欄としたが、今後の課題である。

1. 2. について

しかし、アンケートや参加者の真摯な態度から、講座そのものは成功したと考える。

3. グループ分けについて

講師・人権交通防犯課男女共同参画担当・豊川共生ネットみらいの三者で相談し、男女の意識差を掴むためにグループ分けを工夫(㊸男性のみ㊹女性のみ㊺男女混合)した。しかし、参加者に、その意図を明確に伝えなかった。

4. 第三者による評価は求めなかった。

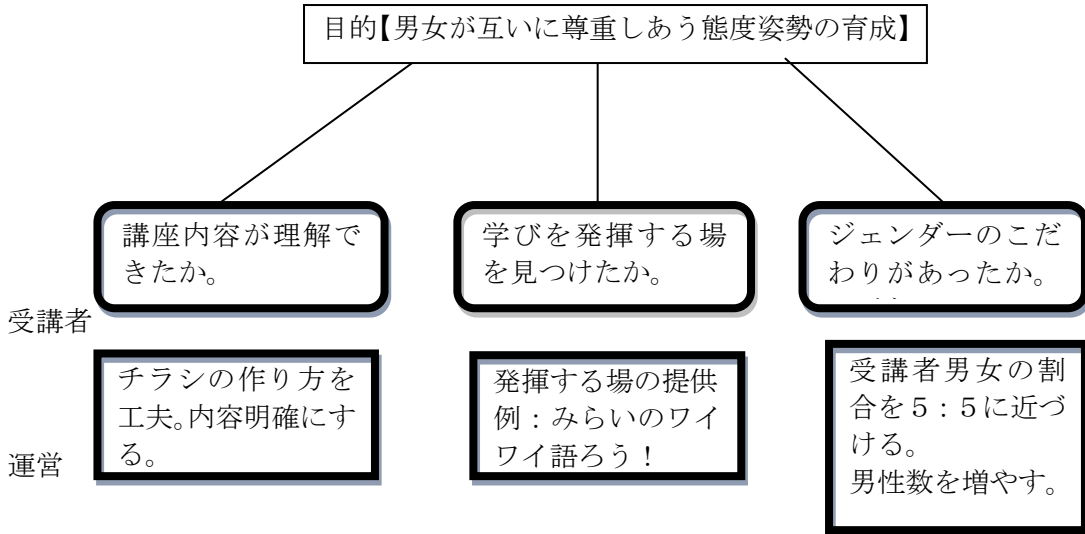
講座に対して第三者に評価を求める場合、誰に要請し何をチェックしてもらうか、検討もしなかった。従って、チェックリストは空欄としたが、今後の課題である。市民活動協働推進委員会からのご指導を仰ぎたい。

【今後の展開】 パートナーと話し合い、事業の今後について考えてみましょう。

来年度に向けて、人権交通防犯課男女共同参画担当・豊川共生ネットみらいで話し合いました。

1. 目標設定について (   内が例)

①具体的な目標設定を示す。



②目標設定を数値化する。

- \*アンケートに各目標を五段階で記載できるようにする。
- \*ただし、アンケートには自由に記載できる箇所もつくる。

2. 上記を基にして、しっかり分析し、達成度を掴み講座充実を図りたい。

3. 協働体制は良好であり、この体制を崩さずにいきたい。

- \*豊川市人権交通防犯課男女共同参画担当 豊川共生ネットみらいの役割分担について、見直す所はない。
- \*講座運営には豊川共生ネットみらい会員外の市民がボランティアを関わってくださるようになった。この動きを大切にしたい。

4. 託児委託

- \*託児は、豊川共生ネットみらいが行う講座すべてをNPO法人与よかわ子育てネットおんぶぎつねこんに委託している。
- \*今回、託児見学者があり、その対応を含めて二者で話し合いルールブック（仮称）を作成する予定である。